



# このままでは大変…プラスチックごみ問題



## 世界でこんな問題があります

### 【海洋プラスチックごみ問題】

海に流れるプラごみの量は世界中で年間約800万トン。2050年には海の中のプラスチックごみの量は、海洋の魚の全重量を超えると言われています。

※出典：The New Plastics Economy: Rethinking the future of plastics (2016.Jan. World Economic Forum)



大阪府域から大阪湾に流入するプラごみ量は年間約1,102 m<sup>3</sup> (25mプール約3杯)、62.8 tと推計されています。  
※出典：https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/osaka-wan/gomisuikei.html (大阪府2021年度暫定値)

### 【有限な石油資源の利用】

プラスチックは化石燃料である石油からできています。その量には限りがあります。



### 【地球温暖化】

プラスチックの生産、輸送、廃棄には地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が排出されます。



## 国内のプラスチックごみ処理について

プラスチックごみは、

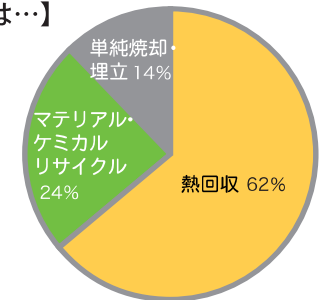
家庭ごみ全体の約**15%** (湿重量ベース)、容量ベースでは約**56%**

※出典：容器包装廃棄物の使用・排出実態調査の概要 (2021年度環境省)

### 【プラごみはリサイクルされているけど実は…】

国内で排出されるプラごみの有効利用率は86%と高いですが、その多くは燃料として燃やされる熱回収がされており、再びプラスチック製品や化学物質として再利用されるのは全体の24%です。

※出典：プラスチックリサイクルの基礎知識 2022 (一般社団法人プラスチック循環利用協会)



## 解決していくためにはどのように取り組めばいいの？

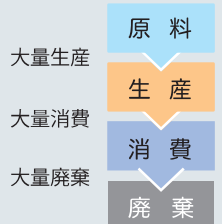
### まずは3Rに取り組むことが大事！

- Reduce (リデュース) … 減らす
- Reuse (リユース) … くり返し使う
- Recycle (リサイクル) … 再生して使う

もらわない「Refuse (リフーズ)」や修理する「Repair (リペア)」なども大切です。

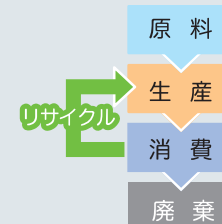
かつては

リニアエコノミー



現在は

リサイクルングエコノミー



2050年に向けて

サーキュラーエコノミー (循環経済)

新たな資源の投入量や消費量を抑えつつ、廃棄物を出すことなく資源を循環させる経済の仕組み

